

第2学年道徳科学習指導案

日 時 令和6年10月3日(木)
第5校時 13:40～14:25
学校名 中野区立啓明小学校
対 象 第2学年1組 30名
授業者 主任教諭 保科 正子

1 主題名 純粋な心の美しさ D〔感動、畏敬の念〕

2 ねらいと教材

(1) ねらい 人の心の美しさや清らかさに触れ、美しいものに素直に感動する心情を育てる。

(2) 教 材 「七つのほし」(出典：東京書籍「新編 新しい道徳 2」)

3 主題設定の理由【指導観】

(1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

小学校学習指導要領(平成29年告示)では、本内容項目について、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の第1学年及び第2学年の内容項目の中で、「美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと」と示されている。

美しいというと自然が織りなす風景や身近な草花の美しさ、物質の美しさに出会う機会が多い。さらに人の心の優しさや温かさなど気高いものや崇高なものの美しさもある。そうした心の美しさに出会った際の感動する気持ちを児童の心の中に育てることが大切である。そのためには、児童が見るものだけでなく、生活科における自然体験活動や国語科における読書活動など学校生活全般において、美しいものに会う機会を意図的・計画的に設定する必要がある。

そこで、児童の生活の中に存在している身近な自然の美しさや心地よい音楽、芸術作品、物語に語られている美しいものや清らかなものにたくさん触れさせ、そのときの心地よさや驚き、感動を素直に感じる経験を重ね、美しいものに感動し、すがすがしい心をもてる児童を育てていきたい。

また、児童が美しいものに触れて心が揺さぶられたときには、その思いを大切にするとともに、その感動を他の児童とも共有できるように働きかけることで、初々しい感性を豊かに育んでいきたい。

(2) 児童の実態について【児童観】

本学級の児童は、素直に思いを言葉や表情で表現することができる児童が多い。1年時の生活科におけるアサガオの観察では、美しい花が開くと「きれい。」「見て。」と毎朝の開花を喜び、その喜びを共有する姿が見られた。国語科「スイミー」の学習では、主人公スイミーが兄弟を失った悲しさや海の美しい生きものたちに癒やされる様子などを読み取ることができた。2年時の生活科「おいしいやさいをそだてたい」や「いきものとなかよし」の学習では、自分で選んだ野菜やつかまえた昆虫をどのように育てたらよいのか調べながら育て、生長する姿に疑問や喜びをもち、友達と共有する姿が見られる。地域の方に朗読や紙芝居をしていただいた際には、静かに聞き入り、話の世界に入り込む姿があった。また、演奏家を招いての音楽鑑賞教室では、心地よい音楽や楽しい音楽に包まれ、素直に

全身で喜びを表現する姿があった。児童が見るものだけではなく、日常生活の中には、様々な美しさがあることに、児童自身に気付かせたい。

以上のような日頃の実態から、本時では道徳科として「素直な感動を大切にし、その感動を他の児童と共有すること」を意図して授業を行う。

(3) 教材について【教材観】

本教材は、トルストイ原作の文学作品が基になっている。日照り続きの日に、病気の母のために女の子が木のひしゃくを手に入れた水を探しに行く。やっと手に入れた水を自分のことは後にし、水を欲しがる犬、疲れた様子で死にそうだと訴える旅人にあげると木のひしゃくが、銀のひしゃく、金のひしゃくと変化する。

その金のひしゃくの中からは、大きなダイヤモンドが七つ浮かび出て、北の空高く上り、七つの星（北斗七星）になるという話である。

女の子や病気のお母さんの「相手を思う」姿を通して、「人の心の美しさ」に気付かせ、感動する心情を育てたい。

4 指導の工夫

(1) 発問の工夫

導入の発問「教材を聞いて、どんなところが心に残りましたか。」では、心を動かされたり、感動したりする場面や感じ方は、人によって違うため、初めに自分の感じ方や考えを交流することで、他者理解を深められるようにすることを意図して発問を設定した。

犬に水を飲ませた場面、お母さんに水を飲ませようとした場面、お母さんが女の子に先に水を飲ませようとした場面、疲れた様子の旅人が「水を飲ませてください。死にそうです。」と言った場面、それぞれ女の子の気持ちを問う発問をすることもできる。しかし、教材で心に残ったことを最初に問うことで、児童の教材への素直な感動を大切にしたい。そこでの児童の発言から、女の子自身も、ものすごく喉が渇いているのに、我慢していることを押さえた上で、ひしゃくの色の変化やダイヤモンドが星になった理由を次の発問に設定することで、「目の前の相手の辛さに思わず手を差し伸べる」心の美しさ、純粋さに気付かせることができるのではないかと考えた。

中心発問では、導入と同じ星空の画像を提示することで、感じ方の変化を児童に味わわせたいと考えた。「星空を見て、女の子はどんな気持ちになったでしょう。」と星空の画像を見せて尋ねることで、美しい星を見たときの女の子の気持ちを想像させたい。教材を通して、美しいものに触れ、すがすがしい心を感じさせ、児童にとって、導入で見た同じ星空の画像でも、授業を通して、さらに美しく感じられるような授業にしたい。

発問の後は、すぐに答えさせずに、じっくりと考える時間をとってから意図的指名を行う。また、児童の発言に対し、教師は児童の発言を正対することで、全身で受け止めながら、心から聞いていることを表現したい。必要な場合には、問い返したり、内容を補ったりすることによって、児童の考えを明確に表現させたり深めたりさせていきたい。

(2) その他の工夫

ア 教材提示

読み聞かせでは、プレゼンテーションソフトを使い、視覚的にも物語の内容が一回で理解できるようにする。台詞のところは特に感情を込めて読み、物語の世界へ児童を引き込ませ、登場人物に自我関与させる。心地よいピアノの生演奏を音楽専科の教諭と連携してBGMに使うことで、児童の五感にも訴えかけ、感動的で落ち着いた雰囲気の授業環境を構成し、教材文の世界の美しさを際立たせたい。

読み聞かせた後は余韻を保ち、児童の教材についての思いを深めさせ、児童が素直に感動するように教材提示をしたい。

イ 振り返り

授業で学んだことや考えたこと、思ったことをワークシートに書かせることで、自分自身の生活を振り返らせたい。また、記述させる授業の場合は、毎回同じ形式のワークシートを使い、自己評価することによって、自分がどのくらい考えることができたかを確認し、次回の授業につなげていく。

書くことが思い浮かばない児童には、板書を見ながら助言し、友達の発言でよかったことや物語の感想でもよいことを伝える。

ワークシートに記述したことを数名の児童に述べてもらうか、教師が代読することで、児童が自分の感じ方と比べて考えることによって、他者理解や自己理解を深めさせたい。その際には、児童のプライバシーも考慮しながら、児童の了承を得ておいてから意図的指名をする。意図的指名においては、道徳的価値を多面的・多角的に取り上げられるようにしたい。

5 学習指導過程

	主な学習活動 ○ 主な発問 ・ 予想される児童の反応	・ 指導上の留意点等 ◎ 評価の視点（評価方法）
導入	1 夜空の星の様子を見て、話し合う。 ○ 星空を見て、どんなことを思いましたか。 ・ きれい。 ・ 初めて見た。 ・ 本当の星空もきれいだったよ。	・ 星空（北極星を含む星空）の画像を提示することで、教材への関心を高める。 ・ 教材名を貼る。 ・ 女の子の絵を貼って、女の子の気持ちを考えていくことを伝えてから、読み聞かせる。
展開	2 教材「七つのほし」を聞いて話し合う。 ① 教材を聞いて、どんなところが心に残りましたか。 ・ 女の子がお母さんのために水を探しに行くところ。 ・ 女の子が犬や旅人に水をあげたところ。 ・ 女の子が自分も喉が渇いているのに我慢して、他の人を優先しているところ。	・ プレゼンテーションソフトを使いながら、ピアノの生演奏をBGMに教材を提示する。【工夫(2)ア】 ・ 発問後、考える時間を十分にとる。 ・ 自由に感じたことを言葉にさせ、友達に広げようとする意欲を高める。 ・ 感想を交流することで、他者理解を深められるようにする。

<ul style="list-style-type: none"> ・ひしゃくが銀や金に変わったところ。 ・大きなダイヤモンドが七つの星になったところ。 <p>②ひしゃくの色が変わったり、ダイヤモンドが星になったりしたのは、どうしてだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女の子が自分も水を飲みたいのに犬や旅人を助けようとしたから。 ・お母さんも女の子のことを思って、先に水を飲ませようとしたから。 ・女の子やお母さんの相手を思う気持ちが、銀や金、ダイヤモンドのように美しかったから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>③星空を見て、女の子はどんな気持ちになったでしょう。(中心発問)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・星空は、なんて美しいのだろう。 ・心の美しさが、星になったのだな。 ・犬や人にやさしくしてよかった。 ・これからも、困っている動物や人を助けよう。 ・きれいで、すがすがしい気持ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女の子が自分もものすごく喉が渴いているのに、我慢していることを押さえる。 ・児童の発言を座席表にメモしていき、集約してから分類整理して板書する。 <ul style="list-style-type: none"> ・理由を問うことで、「心の美しさ」に対して、多面的・多角的に考えることにつなげる。 ・相手のことを思う心の純粹さ、美しさに気付かせるために「人を助けようとしたら、どうして大きなダイヤモンドになったのかな。」と必要に応じて補助発問をする。 ・女の子の気持ちだけでなく、病気のお母さんも相手を思いやる美しい気持ちをもっていることに気付かせる。 ・人の痛みがわかることが、人のすてきさや美しさにつながることに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・導入と同じ星空（北極星を含む星空）の画像を提示することで、感じ方の変化を味わわせる。 ・美しい星空を見て、その星が、人の心の美しさからできたことを知り、そのすがすがしさを感じさせる。 <p>◎人の心の美しさ、尊さに気付き、感動している。 (発言：板書・座席表)</p>
<p>3 これまでの自分の生活を振り返る。</p> <p>○人の行動を見て、「すてきだな。」「すごくよいことだな。」と思ったことや今まで出会った本や話などで、心の中で星がキラキラ輝いたと感じたことはありますか。それは、どんなことでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球選手が、外国でたくさん記録を出していて、言葉だけでも大変なのに、すごくカッコいいなと思った。 ・スポーツフェスティバルの練習で、友達が競争の最後で負けそうになったときに、「がんばれ。」「最後まで、あきらめんな。」と大きな声で応援する友達がいて、 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で見付けられる児童には、その行動を価値付ける。 ・物語の母娘のように極限の状態でも相手のために行動するという経験は児童には身近ではないため、「今まで出会った本や話などで」と、発問にすることで、人の心や行い、自然や芸術の美しさを思い出せるようにする。 ・ワークシートに記述させる時間を充分に取る。 <p>【工夫（２）イ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えが思い浮かばない児童には、板書を見ながら助言する。 ・発表してもよいと了承を得られた児童を指名する。その際、多様な考えを取り上げるように

七つのほし 10月3日(木)

名前

①お話について、考えられましたか。

すこし 1 _____ まあまあ 2 _____ しっかり 3 _____ たくさん 4 _____

②じぶんのことについて、考えられましたか。

すこし 1 _____ まあまあ 2 _____ しっかり 3 _____ たくさん 4 _____

③ともだちのいけんについて、考えられましたか。

すこし 1 _____ まあまあ 2 _____ しっかり 3 _____ たくさん 4 _____